

平成 31 年 4 月 26 日

東京都知事 小池百合子殿

高齢運転者の交通事故防止対策に関する要望書

都民ファーストの会東京都議団  
幹事長 増子ひろき

今年 4 月 19 日、豊島区で 87 歳の男性が運転する乗用車が交差点に進入し、2 人が死亡、6 人が重軽傷を負う事故がありました。

75 歳以上の運転者の死亡事故件数は、全国的にみて、10 年間ほぼ横ばいで推移しているものの、死亡事故全体に対する構成比は上昇傾向にあり、平成 30 年は全体の 14.8%を占め、また、75 歳未満の運転者と比較して免許人口 10 万人当たり 2 倍以上多く発生しています。

東京都でも、高齢運転者に対する安全運転の普及啓発などを行っていますが、豊島区で発生した事故のような高齢運転者による悲惨な事故を二度と起こさないためには、関係機関における一層の対策の強化が必要です。

よって、下記について、要望します。

記

1. 高齢者が運転する自動車を、自動ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など安全運転支援機能を備えた「安全運転サポート車」とするよう、補助金等の支援策を検討すること。
2. 75 歳以上の高齢者に対する免許の自主返納を促進するための更なる特典や優遇措置などの誘導策について、検討すること。
3. 75 歳以上の高齢者に対する免許証の更新審査にあたり、
  - (1) 「認知機能検査」及び「高齢者講習」が適正かつ迅速に行われるよう、普及啓発や態勢の強化を図ること。
  - (2) 免許更新する場合には「安全運転サポート車」を運転するようにする方策について、検討すること。